



発行所  
追手門学院大学  
卒業生保護者の会  
〒567-8502  
茨木市西安威 2-1-15  
TEL 072 (641) 9668  
FAX 072 (641) 9664  
印刷所  
株式会社 七旺社  
神戸市長田区一番町 2-1  
TEL 078 (575) 5212

平成二十(二〇〇八)年度卒業生保護者の会総会を六月十四日(土)午後三時から、食堂棟三階において開催しました。

議事に先立ち、羽田会長、鈴木学長の挨拶が行われ、続いて大学関係者の紹介が行われました。その後、次第に従い議事に入り、以下のことが承認されました。

**平成十九(二〇〇七)年度事業報告**

1 会員相互の親睦を図る事業  
1 総会、委員会、役員会、懇親会の開催

2 見学会並びに懇親会への参加(教育後援会主催)  
平成十九(二〇〇七)年十月二十四日(水)大阪山本能楽堂での日本伝統芸能鑑賞、なわ探検クルーズ、神戸花鳥園の見学並びにホテルオークラ神戸での懇親会

3 落語鑑賞会の開催  
平成二十(二〇〇八)年一月十七日(木)天満天神繁昌亭における落語鑑賞会と大阪天満宮の拝観、新年祈願及び大阪天満宮会館における昼食懇親会

4 卒業生保護者の会ホームページを通じての会員への広報

5 「会報」の発行

2 学生への助成事業  
1 教材支援奨励金に対する援助  
2 災害被害者援助金に対する援助  
3 入学記念品の贈呈に対する援助  
4 卒業記念品の贈呈に対する援助

3 学院創立一二〇周年記念事業活動  
1 第四回「追手門学院奉拝船」への協賛

2 記念事業活動のための積立  
4 大学への助成事業  
1 サテライトオフィス茨木への援助  
2 大学施設設備充実資金助成の積立

平成十九(二〇〇七)年度  
収支決算書報告及び会計監査報告  
報告のとおり承認されました。

平成二十(二〇〇八)年度  
事業計画案  
平成二十(二〇〇八)年度  
収支予算書案  
原案どおり承認されました。

平成二十(二〇〇八)年度  
卒業生保護者の会役員案  
本議案につきましては、総会での採決に至りませんでしたので、後日改めて臨時総会を開催し、諮ることとなりました。

総会終了後、食堂棟三階において、大学関係者も交え、懇親会を開催いたしました。

学院創立一二〇周年  
記念式典等開催  
創立一二〇周年記念事業事務局

追手門学院大学卒業生保護者の会の皆様方には、平素より追手門学院・大学に対し、教育事業の発展のためにご協力ご支援を賜り、ありがとうございます。

大学におきましては、学院創立一二〇周年記念事業・大学四〇周年記念事業として、中央棟・六号館の建設を柱としたキャンパス整備が行われ、大学全体の景観が美しく一新されました。これらの周年事業をより発展・成功させるため、二〇〇五年十月より総合募金を開始いたし、すでに関係各位より、ご芳志をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。引き続き募金目標額達成に向けて、皆様方のご協力が必要となつて参りますので、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

さて、創立一二〇周年記念事業の最大のイベントである、創立一二〇周年記念式典が大阪城ホールにて、二〇〇八年十一月七日(金)十三時三十分(開式十二時三十分開場)されます。

この創立一二〇周年記念式典は、創立一二〇周年記念事業の集大成といたしまして、「オール追手門」を合言葉に六千人規模の式典を計画いたしております。この式典には、園児・児童・生徒・学生・教職員・保護者・卒業生・卒業生の保護者及び家族や知人・関係企業の皆様方をご招待いたします。追手門学院は、人と言うと還暦を二回迎えたことになり、一二〇年の伝統とブランドを再認識すると同時に、追手門学院のすべてのサポーターに祝っていただけの式典になることを目指しております。

また、創立一二〇周年記念式典のイベントは、小・両中・高・大学生八十人によるチアリーダーイング部のオープニングに始まり、音楽とレーザー光線映像、演出家北林氏による御祝儀舞の連獅子、一二〇周年記念DVDの上映、追手門学院にゆかりの著名人(堺屋太一氏・宮本輝氏など)のアニメーションメッセージ、演奏は、幼稚園児百二十人による鼓隊、小学校児童による日本太鼓、両中・高・大学生百四十人による吹奏楽、中国武術などを披露いたします。さらに、第二回「オール追手門展」の展示を大阪城ホールのエントランスで開催いたしますので、大学卒業生保護者の会会員の皆様方多数のご参加をお待ちいたしております。

# 追手門学院大学将軍山会館竣工式 並びに見学会・祝賀会開催



## 将軍山会館 について



電話〇七二・六四一・七六九三  
FAX〇七二・六四一・七六九四

将軍山会館は、学校史展示室

として、また学生及び教職員の憩いの場、そして卒業生をはじめとする本学関係者、一般の方々にご利用・ご見学いただける施設となっております。

展示スペース、オープンカフェ、라운ジの他、地下一階に三十名、二階に十四名対応可能な会議室が二室あります。詳細につきましては、問い合わせ先までご連絡ください。

## 「日本の伝統芸能鑑賞と 水都大阪・港街神戸への旅」



平成十九(二〇〇七)年度  
見学会並びに懇親会  
平成十九(二〇〇七)年  
十月二十四日(水)

教育後援会が企画し、卒業生保護者の会からも多く参加して

いる、秋の見学会並びに懇親会を平成十九(二〇〇七)年十月二十四日に開催いたしました。

当日の参加者は、卒業生保護者の会五十八名、教育後援会会員九十三名、大学関係者八名、総勢百五十九名となりました。

今回はまず、大阪の山本能楽堂で、日本の伝統芸能である、お能を鑑賞し、次に「なにわ探検クルーズ」として、船上で昼食をとりながら、落語家の案内で水都大阪の歴史と橋めぐりをいたしました。その後、神戸ポートアイランドの神戸花鳥園に移動し、睡蓮やベゴニアなど色鮮やかな花々と珍しい鳥たちを見学いたしました。

懇親会は、ホテルオークラ神戸「平安の間」にて開催いたしました。教育後援会や大学関係者とともに、会員相互の見聞を広め、懇親を深めた、実り多い秋の一日となりました。



### 開館時間

(月)～(金)  
午前九時三十分～午後五時  
(土)

### 休館日

日曜日・祝日・大学が定める休業日(要確認)

### その他

団体でご来館の場合は、事前にご連絡ください。

### 問合せ先

追手門学院大学将軍山会館  
五六七・八五〇二  
茨木市西安威二・一・十五

## 教育後援会 「見学会並びに懇親会」 開催のご案内

二〇〇八年度教育後援会「見学会並びに懇親会」が来る十月二十二日(水)に開催されます。

これは、毎年秋に、会員相互の見聞を広め、親睦を図るために開催されるもので、多くの本会会員の方々にもご参加いただいております。今回は滋賀方面(石

山寺・源氏夢回廊と琵琶湖博物館の見学、琵琶湖ホテルでの懇親会)が予定されております。

なお、詳細につきましては、九月初旬に郵送いたしますご案内状をご覧ください。



かねてより学院創立一二〇周年記念事業並びに大学創立四〇周年記念事業の一環として建設中の将軍山会館が、このほど竣工の運びとなりました。平成二十(二〇〇八)年六月二十八日(土)午前十時から、二号館前広場にて、竣工式が挙行され、本会を代表し、羽田会長が、玉串奉奠をいたしました。

竣工式終了後、将軍山会館に場所を移し、展示される絵画「青が散るによせて」(制作・坂上楠生氏)の除幕式が行われました。この絵画は本学第一期生の作家、宮本輝氏の小説「青が散る」をテーマに描かれたもので、大学から校友会に寄贈されたものです。絵画の除幕には、宮本輝氏、初代学長のご次男・天野城二氏と、本学創成期に由来の深い方々が出席されました。絵画制作者の坂上氏は、ご都合により、除幕式への出席はできませんでしたが、除幕式ではメッセージが紹介されました。その後、続いて将軍山会館の見学会が開催されました。

見学会終了後、祝賀会が、午前十一時三十分から、食堂棟一階で開催されました。将軍山会館建設に際し、協力した卒業生保護者の会、教育後援会、校友会に対して、鈴木学長より感謝状が贈呈され、卒業生保護者の会からは、羽田会長が代表して受領いたしました。来賓紹介及び挨拶があり、大阪締めの後、式典は滞りなく終了いたしました。

一般の方にもご見学いただける施設ですので、大学へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



**天満天神繁昌亭  
落語鑑賞会に参加して**  
平成十九(二〇〇七)年度  
会計 松本 泰子

小雪のちらつく中、参加者一同、大阪天満宮本殿に上り、新年祈願のご祈禱を受けました。祭司様の祝詞の力強い音声と巫女さんの清らかな鈴の音と共に身の引き締まる思いがしました。天満宮会館に場所を移しての昼食は、松花堂弁当で、新年らしいあしらいで、天神さんらしく、梅花に抜き形された人参、吸物の実には、羽子板の練物な

ど、目にも口にも満足のいくものでした。

また、初めての方々と同じテーブルを囲んだのですが、会話が弾み、子供達の在学中の事や、近況にも話が及び、ゆつくりとおしゃべり出来ました。



いよいよ本日メインの繁昌亭での落語鑑賞。チケットが取りにくいと言う噂通り、寒い中で長蛇の列が開演を待つ事、しばし、軽やかな太鼓の音に招かれるように入場。すぐに満席のようでした。私達は、二階の席でしたが、舞台と客席は一体と

なれる適度の広さでした。

多くの嘶を聞く事が出来、お腹をかかえて笑ったり、胸がつまつてきて、泣いたり、胸がいひと時でした。また、次の演目の準備を見る事が出来た事も、テレビでは見る事が出来ない喜びの一つとなりました。小道具や演目の書かれた紙を替えるのですが、次の演者の為に新しい座布団を置き、中央の同じ糸を、すーっと真直に整えるのを見た時、落語を語るという事への清新な想いというものに、心を打たれました。笑いは何よりの良薬と言われていますが、とても心豊かになった気持ちで家路につきました。

来年は、どんな企画をしてくださるのだろうと楽しみにしております。



卒業生保護者の会「見学並びに懇親会」を来る二〇〇九年一月二十一日(水)に開催いたします。今年度は、大阪の松竹座で公演される「初春大歌舞伎」の鑑賞会を予定しております。なお、お申し込み等の詳細につきましては、九月初旬に郵送いたしますご案内状をご参考ください。

**活動記録**



- 7月31日 委員会
  - 12月17日 委員会
  - 4月25日 役員会
  - 5月23日 会計監査・委員会
  - 6月4日 指名委員会
  - 6月11日 指名委員会
  - 6月14日 指名委員会・委員会・総会
  - 7月4日 懇親会
  - 7月29日 委員会
  - 8月8日 指名委員会
  - 8月20日 指名委員会
  - 8月27日 指名委員会・委員会
- 臨時総会・役員会

**卒業生及び入学生に  
記念品を贈呈**



本年三月二十四日(月)、大阪市北区の大阪国際会議場において、二〇〇七年度学位授与式が挙行されました。卒業生に対し、本会から、卒業記念品として大学年入り「筆記具」を贈呈いたしました。

また、四月三日(木)には本学体育館において、二〇〇八年度入学式が挙行され、入学記念品として卒業生保護者の会オリジナル「クリアファイル」を入学生全員に贈呈いたしました。

**教材支援奨励金給付及び  
災害被害者援助金給付**



本会では、本学学部学生を対象に、修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により教材等を購入することが困難な者を援助することを目的とした教材支援奨励金の制度と災害により被害を被った場合に、経済的支援を行うことを目的とした災害被害者援助金の制度を設けています。

平成十九(二〇〇七)年度は、教材支援奨励金を三十名の学生に給付し、災害被害者援助金は二名の学生に給付いたしました。

2008年度 卒業生保護者の会  
役員・委員・幹事・相談役

役職	氏名	卒業年(期)	
会長	能口元良	2007(38)	
副会長	塚本由美	2002(33)	
	北村恵美子	2004(35)	
	塩田昌宏	2007(38)	
	福山晴美	2008(39)	
会計	結城由美子	2005(36)	
	坂野実千代	2008(39)	
会計監査	藤井知敏	2008(39)	
	川元恵子	2008(39)	
委員	吉川和子	2002(33)	
	後藤和枝	2003(34)	
	高月敬子	2004(35)	
	田川佳子	2004(35)	
	国谷由紀子	2005(36)	
	大塚安代	2007(38)	
	木戸光子	2007(38)	
	佐藤友美	2007(38)	
	伊藤貴子	2008(39)	
	中川理恵子	2008(39)	
	山田温子	2008(39)	
	幹事	柴野陽一	
		浮田勝弘	
坂口伊知郎			
越智英二			
筑本豊和			
相談役	鷲見文子	2003(34)	
	羽田清彦	1999(30)	

※相談役は、会長就任順

追手門学院大学

卒業生保護者の会会報 第6号 別紙

平成二十(二〇〇八)年度卒業生保護者の会臨時総会を八月二十七日(水)午前十一時三十分から、大学五号館八階大会議室Aにおいて開催いたしました。議事に先立ち、羽田会長、続いて高尾副学長の挨拶が行われ、その後、次第に従い議事に入り、平成二十(二〇〇八)年度の役員案が拍手でもって承認されました。

臨時総会終了後、新役員によ

る役員会が開催され、委員の指名が行われ、会長から平成二十(二〇〇八)年度の委員として委嘱されました。また、会則一部改正案が諮られ、歴代の退任会長は、相談役に就任すること等が承認されました。会則を実際に運用するにあたって、改正が必要と思われる実務的な課題は、新体制で継続して検討していくこととなりました。



ご挨拶

追手門学院大学  
卒業生保護者の会

会長 能口 元良

猛暑の中、八月二十七日臨時総会にて、会長職を仰せつかりました能口でございます。前任の羽田会長及び前役員・委員の方々には、これまでのご尽力に心より感謝申し上げます。

私自身、追手門学院大学四期卒業生ですが、子供が在学中には教育後援会の役員も経験させていただきました。今後は、甚だ微力ではございますが、卒業生保護者の会新役員・委員の皆様方と力を合わせて、教職員の皆様、教育後援会、校友会、学友会、地域との連携を図り、卒業生保護者の会の発展に尽くしたいと存じます。

今年度は、会員相互の親睦を図る事業として見学並びに懇親会の開催、会報の発行など、学生への助成事業として教材支援奨励金並びに災害被害者援助金の支給、入学・卒業記念品の贈呈、大学への助成事業としてサテライトオフィス(大手前、茨木)への支援、将軍山会館備品

購入費への援助、学内環境・緑化のための援助など、会員への助成事業として災害援助基金の創設を計画しており、子供たちの母校を支え協力するために活動して参ります。

追手門学院は、本年、創立二〇周年を迎えました。教育基本法改正により大学の在り方が問われ、大学間競争に是非とも追手門学院大学が勝ち残って欲しいのが、卒業生保護者の会の思いであるとすれば、本会が他大学にもほとんど例のないユニークな会だけに、大学との連携によって下支えの役割を担うものと確信しております。よって、追手門学院歌にもある「民主」的な会の運営が望ましいと考え、役員一人一人が、会長のつもりで考え具申し上げて頂くつもりです。

どうか今後とも、会員の皆様方のご協力とご支援を賜ります様、重ねてお願い申し上げます。